

<div>取扱説明書番号 D177-RGXD</div>	<h2>アフターサービスについて</h2>
<b>室内用</b>	
<h1>電波時計 取扱説明書</h1> <p>(デジタル電子音目覚まし時計)</p>	
<p>ご購入いただきありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。</p> <p>取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。</p>	
<div>製造販売元 <b>リズム株式会社</b></div> 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12 <div>https://www.rhythm.co.jp</div>	
<div>お問い合わせ先</div> リズム総合サポート <p><b>https://rhythm.jp/support/</b></p> <p>商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。例、8RZ○○○</p> <p>お客様相談室:0120-557-005</p> <p>受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)</p> <p>(Y2405)</p>	
	この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
	Service and technical support for this product are available only within Japan.

<b>保証書</b>	
※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL( )	—
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)	
	※印は販売店記入

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ㊄は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

㊄は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

### 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
  - 電池に傷をつけない。●電池を分解しない。
  - 電池をショートさせない。●電池を充電しない。
  - 電池を加熱しない。●電池を火の中に入れない。

- 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。

### 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。
- 下記の様な場所では使わない  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
  - 直射日光が当たる所。●暖房機器からの風が当たる所。
  - 温度が－10℃以下または＋50℃以上の所。●火気のそば
  - ほこりが多く発生する所。●調理場など多くの油を使用する所。
  - 強い磁気を発生させる機器のそば。
  - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
  - プール、温泉場などガスの発生する所。
  - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。
- 液晶から漏れた液に素手でさわらない  
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

### 電池のご注意(電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(－)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜて使わない。

#### 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

#### 電池の寿命について

- 電池の寿命は温度などの使用条件により、製品仕様より短くなることがあります。

### 温度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度を反映するまでには時間がかかります。
  - 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
  - 測定する高さによっても、温度に違いが出ることがあります。
- ※厳密な温度管理をする用途には適していません。また、温度の証明や商取引には使用できません。
- 測定範囲を超えたときの表示とその意味**
- 温度「♯」50℃を超える高温 「⬇」－9.9℃未満の低温

### お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

### 保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

- 保証書は再発行いたしません。
- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご購入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

<b>■販売店の方へ</b>	
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。	
	※印は販売店記入

### 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さズや汚れなど)
- 電池の交換。

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

#### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jiy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

#### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。**海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

#### 電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

### おもな製品仕様

使用温度	－10～50℃ *結露しないこと	アラーム機能	設定した時刻にアラームが鳴る
液晶表示可読温度	0～40℃	アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
時間精度	標準電波受信成功直後 ±1秒	アラーム音	電子音(20種)
	標準電波を受信しない場合	スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
	平均月差±30秒(温度が5～35℃のとき)	オートストップ	アラーム音が連続5分で自動停止
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 2個	カレンダー	2015～2099年対応
電池寿命	約2年(1日当たりアラームを10秒間、音量大で鳴らし、照明を5秒点灯した場合)	防塵防滴	なし
温度表示	－9.9～50℃	標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
温度精度	±2℃	受信局	福島局／九州局自動選択
測定間隔	約1分	受信回数	1日8回
		受信ON/OFF	ボタン操作にて切替可能
		標準電波受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の各時間帯16分40秒に開始。

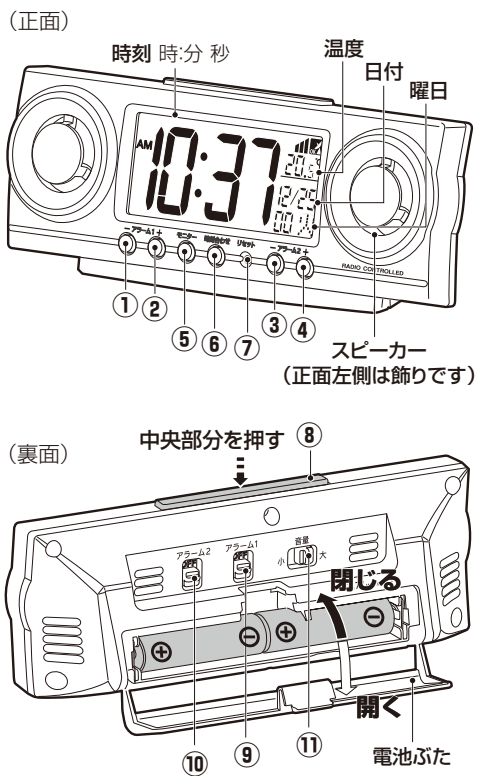
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。0～40℃になれば、正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品	保証書 1枚
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。	

電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



単3形アルカリ乾電池(推奨) 2個  
電池を入れるときは、電池ぶたを開閉してください。

※液晶の表示は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

- ①アラーム1(-) アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
- ②アラーム1(+)
- ③アラーム2(-)
- ④アラーム2(+)
- ⑤モニター アラーム音の選択と試聴するときには押す。
- ⑥時刻合わせ 手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑦リセット 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。  
押すと2015年1月1日AM12:00  
アラーム時刻AM6:00になります。
- ⑧スヌーズ アラーム音の一時停止。  
ライトボタン兼用。
- ⑨アラーム1 アラーム1のON/OFFスイッチ。
- ⑩アラーム2 アラーム2のON/OFFスイッチ。
- ⑪音量(大小) アラーム音量を切り替えるときに使用。

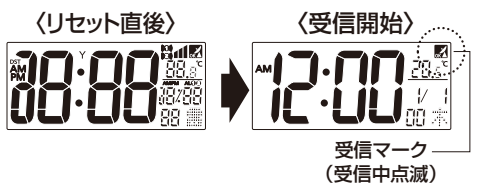
### ⚠ 注意

必ず電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

## 1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

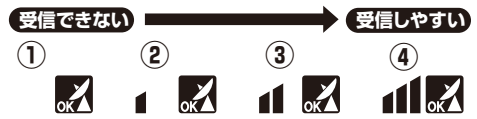
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

### 【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2015年1月1日 AM12:00、アラーム時刻 AM6:00に設定されます。

**受信中の受信マークの変化**(電波サーチ機能)  
電波の状態により変化します。



1~2分経過しても①や②の状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。



電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ① 電池ぶたを開ける
- ② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- ③ 楊枝などでリセットボタンを押す  
受信マークが点滅し受信を開始します。  
受信中はボタンに触れないでください。
- ④ 20分後に受信結果を確認する  
受信は最長で20分を行います。受信マークが点滅していれば受信に成功しています。

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

### 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくこと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くようにして、リセットボタンを押して結果を確認します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

- 電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して受信マークが消灯します。
- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

## 手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

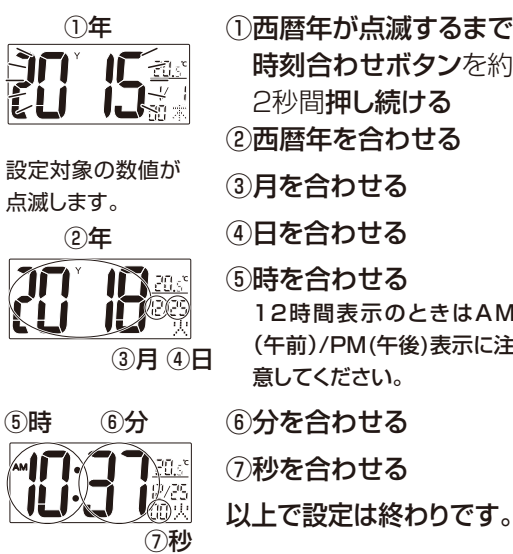
**年、月、日、時刻(時・分・秒)でのボタン操作**  
点滅している数値を+または-ボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押すと数値を確定して次のステップに進みます。

ボタン	押し続けて	押し続ける
+	1つ進む	早送り
-	1つ戻る	早戻し

+、-ボタンは、アラーム1と2の両方を使用することができます。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例 2018年12月25日 AM10:37に合わせる



## 2 アラーム機能を使う

**重要** アラームは非常に大きな音で鳴ります。次のことに注意してください。

- 耳の近くで鳴らしたり、大音量で長期間使い続けたりすると難聴などの聴覚障害になるおそれがあります。
- 建物の構造などにより室外に音が漏れることがあります。ご近所迷惑にならないように音量や置く場所などにご注意ください。

アラーム1と2、2つのアラーム時刻を設定して使用することができます。

○ アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームがスヌーズとオートストップ機能の対象になります。

○ アラーム1と2のスイッチをOFFにしてからアラーム時刻を設定してください。

○ アラーム1と2のスイッチをONにしたときは、アラーム時刻の早い方を表示します。

○ アラーム1と2のアラーム音の種類と音量は同じ設定になります。

○ **アラーム状態のときはアラーム時刻を設定することはできません、アラーム状態を解除してから設定してください。**

※アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

### ■アラーム1と2の設定手順は同じです。下記の説明はアラーム1の例です。

設定するときは、アラーム1、2それぞれの+/-ボタン、アラームスイッチを使ってください。

### ① アラーム時刻を合わせる

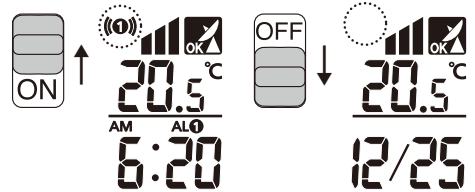
- ① アラームスイッチをOFFにする
- ② +または-ボタンを押してすぐ離す



- ③ +または-ボタンでアラーム時刻を合わせる  
ボタン 押してすぐ離す 押し続ける  
+ 1分進む 早送り  
- 1分戻る 早戻し
- ④ 約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

### ② アラームのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯します。  
アラームスイッチ ON アラームスイッチ OFF

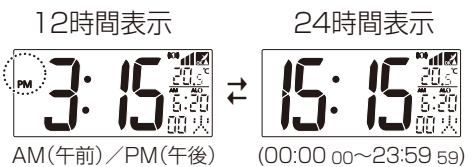


### アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしないと毎日アラームが鳴ります。使用しないときは必ずOFFにしてください。

### 時刻表示形式の切り替え

時刻合わせボタンを押してすぐに離すと表示形式が変わります。

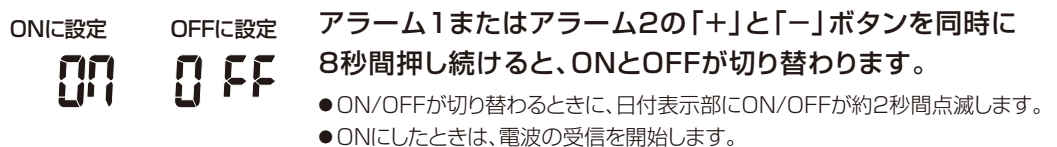


次の状態のときは、表示の切り替えができません。  
● 電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻、日時の設定中。

## 電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON: 定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。

OFF: 電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。



※電池を抜いて回路内に電荷がなくなると受信機能がONになります。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

## 強制受信とリセット操作について

**強制受信** (受信機能がONのとき)  
場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。  
**操作** アラーム1または2の「+」と「-」の2つのボタンを同時に約2秒間押し続けると、受信を開始します。アラーム時刻または日時の設定状態、アラーム状態のときは強制受信を行いません。

**リセット**  
電源を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。  
リセット直後は、2015年1月1日AM12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。また、電波受信機能がONになり、受信を開始します。